



2022年10月28日

各 位

会 社 名 三 谷 産 業 株 式 会 社
代表取締役社長 三 谷 忠 照
コード番号 8285 (東証プライム・名証プレミア)
本社所在地 石川県金沢市玉川町1番5号
問い合わせ先
責任者役職名 専務取締役 財務担当
氏 名 西 野 誠 治
T E L 076 (233) 2151

剰余金の中間配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当（中間配当）の内容

| | 決 定 額 | 直近の配当予想 (2022年4月28日公表) | 前期実績 (2022年3月期) |
|----------|------------|---------------------------|--------------------|
| 基準日 | 2022年9月30日 | 同左 | 2021年9月30日 |
| 1株当たり配当金 | 4円50銭 | 同左 | 4円50銭 |
| 配当金総額 | 277百万円 | — | 277百万円 |
| 効力発生日 | 2022年12月2日 | — | 2021年12月2日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

2. 理由

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、継続的な安定配当を実施するとともに、企業体質の強化と将来の事業拡大に備えるため、必要な内部留保を確保していくことを基本方針としております。

なお、当社は3年スパンでの中期経営計画を策定しており、外的・内的環境の変化に応じて必要な見直しを行っておりますが、中期経営計画の進捗状況を見極めつつ、継続的な安定配当を実施するために、内部留保のうち配当積立金について、年間配当金総額の3倍程度の水準を一つの目標とし確保してまいる所存であります。

上記の方針に鑑みて、2023年3月期の中間配当金を1株当たり4円50銭といたします。

なお、当社は、会社法第459条の規定に基づき、取締役会の決議によって剰余金の配当を行うことができる旨を定款に定めております。

(参考) 年間配当額の内訳

| 基準日 | 1株当たり配当金 (円) | | |
|-----------------|--------------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 配当予想 | | 4円50銭 | 9円00銭 |
| 当期実績 (2023年3月期) | 4円50銭 | | |
| 前期実績 (2022年3月期) | 4円50銭 | 4円50銭 | 9円00銭 |

以上